

校訓
平和・自律・創造

≡ 中 ≡
学校だより

令和6年12月4日発行
つるぎ町立半田中学校
校長 手塚 博也
第9号



「いじめ防止」について

～ なくそういじめ！みんなでつくる笑顔の未来 ～

【12月集会（校長講話より）】

本日は専門委員会の引き継ぎを、先日は生徒会役員の引き継ぎ式を行いました。部活動ではすでに、リーダーとなっていた2年生ですが、生徒会、専門委員会も2年生に代替わりをし、本格的に学校のリーダーとなりました。今後の活躍に期待しています。

さて、12月17日に徳島県内の全ての小中学校の児童生徒6万5千人が「いじめ防止」について、一斉に学習を行う予定です。本校では全校生徒による一斉学習（授業参観）を行う予定です。いじめを「しない・させない・見過ごさない」学校を自分たちの力でつくっていくために、いじめ問題について考える授業です。みんなの力で、いじめのない世界、そして笑顔いっぱいの未来をつくってほしいという願いが込められています。

ところで、廊下や昇降口に貼ってある人権標語を見たことがありますか。その中の一つに「いじめは相手の心を傷つける」というものがあります。これは昨年度、人権委員会が作成したものと聞いています。この学校からいじめをなくすために作成し、掲示したものです。先生がつくったものではなく、生徒の手によってつくられた標語であるということに価値があると思います。

今日は、「いじめ防止」を受けて、皆さんに言葉を紹介します。「己（おのれ）の欲（ほっ）せざる所（ところ）は人（ひと）に施（ほどこ）すことなかれ」と読みます。自分がしてほしいことを、人にしてはいけない、という意味です。古代中国の思想家「孔子」の言葉です。孔子は今から250年くらい前の人です。友達のことをからかったり、馬鹿にするようなことを言ったりしてませんか？また、相手が嫌がっていることに気づいていない、ということはありませんか。他人事ではなく、自分事として考えてほしいと思います。

「己の欲せざる所は人に施すことなかれ」

これを守ることができれば、学校はとても居心地のよい場所になるはずです。私は、本校の生徒全員が、毎日気持ちよく学校に来てほしいのです。そのために、全員が少しずつ周りに気を遣ってください。自分だけが気持ちいい、というのは駄目です。誰か一人がうんと我慢している、というのも駄目です。全員が気持ちよく学校に来て、充実した中学校生活を送れるようにすること、それが私から皆さんへのお願いです。

